

かごしまの教育

鹿児島県

No.76

平成30年12月

あしたをひらく心豊かでたくましい人づくり

鹿児島県教育委員会

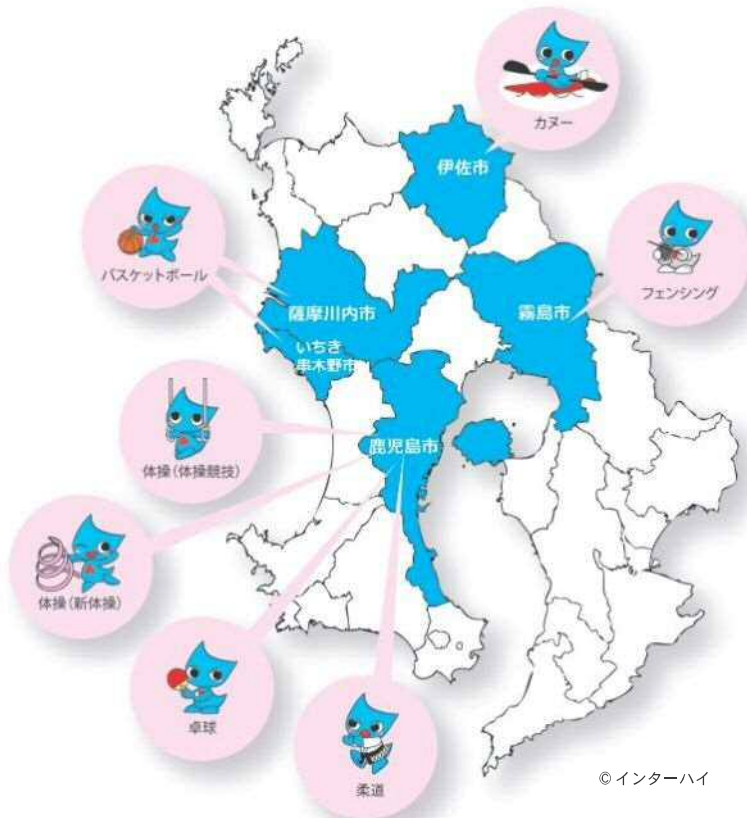
鹿児島県教育委員会ホームページURL <http://www.pref.kagoshima.jp/kyoiku/>

県内開催競技

多くの高校運動部活動生が目指す全国高等学校総合体育大会、通称「インターハイ」が、来年度、鹿児島、熊本、宮崎、沖縄の4県を中心とした南部九州ブロックで開催されます。

本県での開催は、単独県開催であった昭和57年以来37年ぶりとなります。

本大会では、鹿児島市において総合開会式が行われるほか、県内各地で次の競技が開催されます。



©インターハイ



やっ
て
く
る
！
イ
ン
タ
ー
ハ
イ
が



公式HP



公式FB

開催300日前イベント

平成30年11月3日(土)、鹿児島市のAMU広場において「感動は無限大 南部九州総体 2019」開催300日前イベントを開催しました。当日は、司会進行、競技紹介、ステージアトラクションなど、本県の高校生197名が中心となってイベント運営を行いました。

今年度、インターハイを開催した東海ブロックと熊本、宮崎、沖縄各県の高校生生活推進委員も参加し、インターハイについて知ってもらうイベントとなりました。



カウントダウンボード除幕式
(現在、ボードは鹿児島中央駅構内に設置。)



競技体験コーナーフェンシング体験

高校生活動

県内99校に高校生活動学校推進委員会が設置され、インターハイの開催に向けて、広報活動や総合開会式準備、選手団激励企画など、さまざまな取り組みをしています。



会場を彩る草花の播種(はしゅ)作業
山川高校



文化祭展示とカウントダウンリレー
鹿児島南高校



カウントダウンボード制作
鹿児島情報高校



公開演技練習会



おもてなし活動における広報活動
霧島高校

全国学力・学習状況調査の結果を踏まえて ～子供たちの未来のために～

1 学力調査の状況

鹿児島県の子供たちの学力については、ここ数年、全国学力・学習状況調査において全国平均を下回っており、厳しい状況にあります。

<なぜ学力が必要なのでしょう？>

子供たちが夢や希望をかなえるためには、確かな学力を身に付ける必要があります。学力が十分定着していないと、子供たちの自己実現の可能性が狭められることになります。

これからの時代は、AI、IoTなどの情報技術の進展により、今まで以上に予測困難な社会となります。子供たちには、社会や経済の変化に対応するため、思考力、判断力、表現力等を身に付けさせ、主体的に学習に取り組む態度を育成することが必要です。



学力向上に向けて

県教育委員会、市町村教育委員会、学校がそれぞれの立場から調査結果の分析を行い、学力向上に向けた具体的な対策を行っていきます。県教育委員会としては、学力向上を目指して、次のことに取り組んでいきます。

① 授業改善を図るために、校内研修や授業づくりを支援します。

学校に、学力向上支援チームを派遣し、学校の日々の授業が、子供たちが分かる授業に改善されるよう校内研修や授業づくり等を支援します。

② 思考・表現に関する演習問題の実施を推進します。

子供たちの思考・表現力等を養う演習問題（知識の活用）をインターネット上の専用ページを通して提供し、学校における計画的・継続的な実施を推進します。

③ 補充指導・個別指導の実施を推進します。

学習内容を確実に身に付けることができるよう、学校や児童生徒の実態に応じ、補充指導、個別指導の実施を推進します。

PDCAサイクルを意識した学力向上の取組



2 勉強や生活の様子

本県の児童生徒にはこんな良いところが!

平成30年度全国学力・学習状況調査
(児童・生徒質問紙結果から)

【小学校】



「ボランティア活動に参加した」	55.0% (全国比+18.9%)
「地域の行事に参加した」	69.1% (全国比+6.4%)
「将来の夢や目標を持っている」	88.2% (全国比+3.1%)
「授業の予習・復習をしている」	65.3% (全国比+2.7%)

【中学校】



「ボランティア活動に参加した」	61.3% (全国比+9.5%)
「地域の行事に参加した」	50.9% (全国比+5.3%)
「家で、学校の宿題をしている」	95.4% (全国比+3.8%)
「人の役に立つ人間になりたい」	95.3% (全国比+0.4%)

社会参画に対する関心・意欲やボランティアへの意識が高く、人の役に立ちたいという強い思いをもって将来の夢や目標を描き、前向きに頑張っている児童生徒が多く見られます。地域や家庭などで、子供たちの良いところを認めてあげましょう。

かごしま子供SNS相談・通報窓口

近年、若年層の多くが電話よりSNSをコミュニケーションの手段として用いています。そこで、今年度は以下の内容で19校において、LINEやWebチャットページを利用して、リアルタイムで生徒からの相談に応じる検証事業を実施しています。

【SNS相談】

- 相談受付期間 (第二期) 12月22日～1月11日
- 相談受付時間 17時～21時まで

【SNS通報】

- 通報受付期間 7月18日～1月11日
- 通報受付時間 24時間

【実施校】

公立中学校6校、県立高等学校12校、県立特別支援学校1校で実施

今年度の相談状況等を検証して、相談体制の充実を図ります!



大切な子供の命を守ろう! 家庭・学校・地域が一体となった取組を!

子供たちの回りには、様々な危険が存在しており、いつ、いかなるときに事件や事故に巻き込まれるか分かりません。子供たちが危険を予測し、回避する力を身に付け、自分の命は自分で守る態度を育成することが大切です。

以下のことを参考に、家庭でも子供たちへの指導と適切な対応をお願いします。

- 知らない人に声を掛けられたら、「いかのおすし」で対応しよう。
 - ・「いか」…行かない
 - ・「の」…乗らない
 - ・「お」…大声でさげぶ
 - ・「す」…すぐにげる
 - ・「し」…しらせる
- 交通ルールやマナーを守り、交通事故にあわないようにしましょう。
 - 12月は、「交通事故0月間運動」第Ⅱ期です。
 - 幼児・児童の道路への飛び出し禁止～必ず止まって確認、みぎ、ひだり、みぎ～
 - 自転車運転のルール遵守とマナー向上～ヘルメットをかぶろう～
 - 二輪車運転のルール遵守とマナー向上～制限速度を守ろう～
- 立ち入り禁止場所や危険箇所には入らないようにし、危険な遊びはしないようにしよう



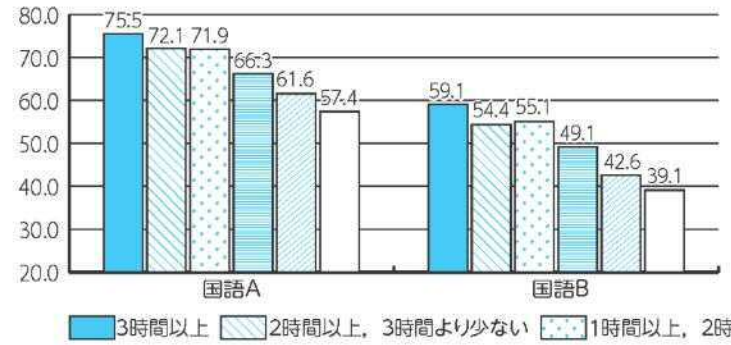
家庭における学習の充実と規則正しい生活は学力向上につながります。

3 家庭における学習時間と学力調査の関係

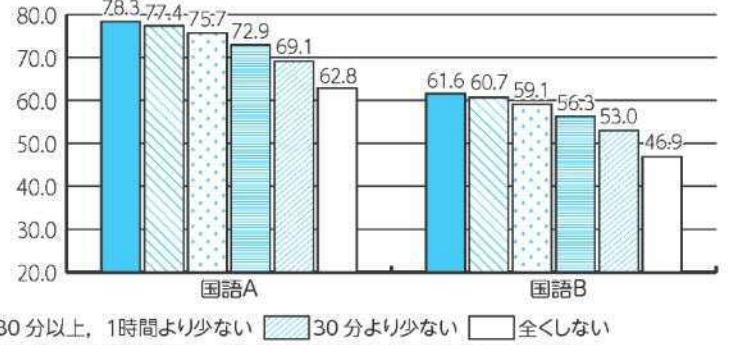


学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。
（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）

〔小学校〕



〔中学校〕



※各グラフの縦軸の数値は、本県の名教科の学力調査における平均正答率です。

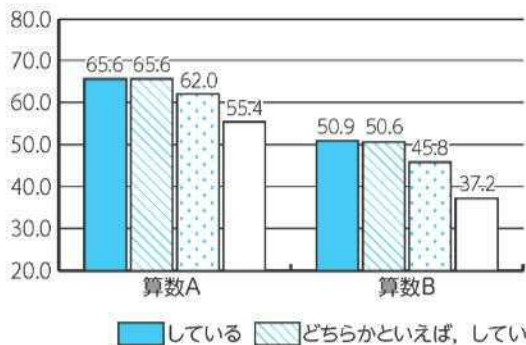
上記のグラフのように、学校外の学習時間が多いほど学力調査の結果が高くなる傾向にあります。また、「家で、自分で計画を立てて勉強していますか」の項目についても、「当てはまる」、「よく当てはまる」と回答している児童生徒ほど、結果が高くなることが分かりました。児童生徒の学力は、学校での学習に加えて、家庭での学習にも関連しています。学校と家庭が連携して、学習したことをさらに定着させていくことが大切です。

4 生活習慣と学力調査の関係

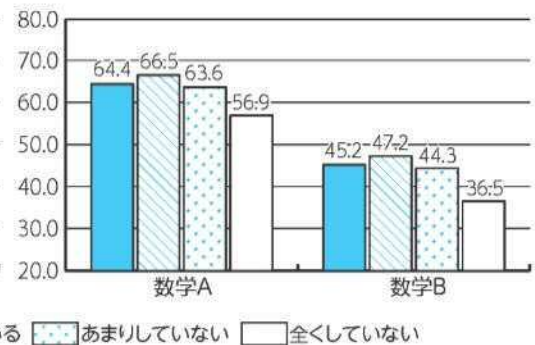


毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。

〔小学校〕



〔中学校〕



【家庭環境と子供の学力には関係があると言われています】各家庭でも、チェックしてみましょう。

- 子供との会話（学校の出来事、友達のこと、勉強のこと、将来や進路のこと、地域のこと等）が多いか。
- テレビ・ビデオ・DVDを見たり、聞いたりする時間などのルールを決めているか。
- 子供に努力することの大切さを伝えているか。
- 子供に最後までやり抜くこと大切さを伝えているか。

H30.6.27 全国的な学力調査に関する専門家会議（第6回）資料（国立大学法人お茶の水女子大学分析資料）参考

この他にも、「毎日、朝ごはんを食べている」、「自分にはよいところがあると思う」と回答している児童生徒ほど学力調査の結果が高くなる傾向にあります。まずは規則正しい生活習慣を確立することから取り組んでみましょう。また、学校や家庭で頑張っていることを見つけて、機会を逃さず、褒めてあげましょう。

子供たちの可能性を広げ、夢や希望をかなえるためには、学力向上が必要です。そして、学力向上には、家庭の協力が不可欠です。各家庭において、学校と連携して取り組んでいきましょう。

大学等奨学金返還支援制度

～鹿児島で働くあなたを応援します!!～

奨学金を借りて大学などを卒業後、県内に居住し、本県の発展に寄与する産業分野に就業した場合に、奨学金の返還を支援する制度です。

- 【人材育成枠】(70人)
大学などに進学する高校3年生など
- 【地域活性化枠】(30人)
・平成32年3月に大学などを卒業しようとする学生
・現在、県外で働いているが、一定期間内に本県の企業などに就業する社会人

現在、地域活性化枠募集中!!

募集要項など詳しくは、[鹿児島県育英財団](#) で検索

世界人権宣言70周年

世界人権宣言は、1948年第3回国連総会で採択され、今年12月10日に70周年を迎えます。
基本的な人権尊重の原則を定めたものであり、「すべての人民とすべての国とが達成すべき共通の基準」としたものです。

「自他の大切さ」を認めること
できていますか?

- みんなの人権 0570-003-110
- 子供の人権 0120-007-110
- 女性の人権 0570-070-810

みんなで築こう「人権の世紀」
考えよう 相手の気持ち 未来へつなげよう 違いを認め合おう

2020 かがしま国体 柔道競技の取り組み ～県選抜中学校柔道強化練習会～

県中学強化指導部では、公益財団法人鹿児島県柔道会の御支援のもと、競技力向上とジュニアアスリート育成を目的に「県選抜中学校柔道強化練習会」を毎月1回実施しています。平成30年度で16年目となり、今ではすっかり定着してきました。県内全域、遠くは奄美大島、徳之島等から毎月約150名の生徒が集まり、活気に満ちた練習会が行われています。



指導者は、県内中学校の教諭を中心に17名で構成され、男女合わせて16階級にそれぞれ強化指導員がつき、専門的な指導を行います。月1回顔を合わせ、お互いに高め合うことで、生徒間の信頼関係・友情が生まれ、「チーム鹿児島」としての結束力が強くなっていることを実感しています。

これまで「鹿児島から日本一」をスローガンに掲げ、選手の育成・強化に取り組んできました。近年では、この強化練習会で育成された選手が、全国大会での上位入賞をはじめ、世界大会でも優秀な成績を収めるなど、着実に成果が出てきています。

2020年に本県で開催される国民体育大会「燃ゆる感動かがしま国体」においては、ここで育った選手の活躍が楽しみでなりません。2年後に迫った「かがしま国体」に向けて、さらに強化・育成を推進し、選手、指導者、関係者等全員の力を結集して、「かがしま国体優勝」を目指して取り組んでいきます。



チェスト! キバレ! かがしま!

冬の体験活動 社会教育施設で本物の体験活動を!

① 青少年研修センター



寒い冬でも友達となら
心も身体もホッカホカ!

空気が進む季節
外での「たこ揚げ」
楽しみだ!

② 南薩少年自然の家

③ 霧島自然ふれあいセンター



親子で楽しく
アウトドアクッキング

奄美の冬の風物詩「黒糖作り」
サトウキビ搾り体験

青少年社会教育施設では、
各施設の特色を生かした様々
な体験活動を提供しています。

④ 奄美少年自然の家



イベント	施設	期日	主な活動	対象	連絡先
① チャレンジキャンプ冬物語	青少年研修センター	平成31年1月26日(土)～1月27日(日)	テント設営・撤収、野外炊飯、簡易クラフト創作、自然散策など	県民一般(3歳以上)	099-294-2111
② なんさつ新春オープンデー	南薩少年自然の家	平成31年1月13日(日)	体験コーナー(創作活動、遊び体験) 展示コーナー(クラフト作品展示、施設紹介、活動紹介パネルなど)	県民一般	0993-77-2500
③ さりしま早春のファミリーキャンプ	霧島自然ふれあいセンター	平成31年3月2日(土)～3月3日(日)	テント設営・野外炊飯、キャンプファイヤー、クラフト活動など	家族	0995-78-2815
④ チャレンジキャンプ冬	奄美少年自然の家	平成31年1月19日(土)～20日(日)	炊さん活動、テント設営、寒中テント泊、黒糖作り体験、創作活動	小学4年生～中学3年	0997-53-1032

※ 詳しいご案内は、各施設のホームページをご覧ください。

企画展 子どもたちにも伝えたい生物多様性

「生物多様性」について、展示をとおしてわかりやすく紹介します。



【期間】
平成30年12月22日(土)
～
平成31年2月24日(日)
【場所】
鹿児島県立博物館1階
【入館料】無料

生物多様性とはなんですか?

- ・森林や草原などいろいろな環境があること(生態系の多様性)
- ・いろいろな生きものがいること(種の多様性)
- ・同じ種の中でも様々な個性があること(遺伝子の多様性)

なぜ守るのか

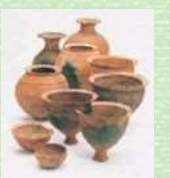
生きものたちは、互いに寄り合って生きています。誰かがいなくなれば、困る生きものが必ずいます。これからも多くの生きものと共に生きていくために、何ができるのでしょうか?

【問合せ】鹿児島県立博物館 099-223-6050

Let's Go 上野原縄文の森!

第53回企画展「弥生もスゴイ! かがしま」

【期間】12月7日(金)～平成31年3月21日(木・祝)
2,000年前の中国の文献には、倭国(日本)が百余りのクニからなることが記されており、鹿児島においても、この時期に相当する豊かな弥生文化が近年の発掘調査により次々に発見されています。今回は、弥生文化を代表する九州北部の遺跡などの資料と比較しながら「弥生時代のかごしま」の特徴や独自性に迫ります!



お正月を楽しもう

第1回「ミニ門松作り」
【期日】12月22日(土) 10:00～12:00
【定員】小学生以上15組(要事前申込み)
新年に向けて自然素材を使ってミニ門松を作ってみよう!

第2回「凧作りと凧揚げ大会」
【期日】1月5日(土) 10:00～12:00
【定員】小学生以上30人(要事前申込み)



凧作りに
チャレンジ!
みんなで凧揚げ
大会も行います!

一日縄文人体験

第6回「カップ麺専用! 縄文土器型クッカーを作ろう」

【期日】2月2日(土) 10:00～12:00
【定員】小学生以上30人(要事前申込み)
粘土を使って、オリジナルの縄文土器型クッカーを作ろう!



【問合せ】上野原縄文の森 0995-48-5701

● 「かがしまの教育」に広告を載せません。

【問合せ】鹿児島県教育委員会総務福利課広報行政係 099-286-5190